

失敗からも学べる だから大丈夫

校長 Sr.大山 江理子

3月になりました。校庭では次々と春の花が開いていきます。まず、グラウンドの梅。3本の梅の木の花が1本ずつ咲いていきました。それからルルドの脇の梅の木。そして、メモリアル校舎に行く角に立つしだれ梅。4年生玄関の脇の早咲きの桜も花を開かせ始めました。日本庭園のハクモクレンもつぼみを膨らませています。もちろん寒い間もサザンカは咲き誇り、次はツバキが華やかに咲き始めます。白いスイセンの花もあちこちで咲いています。桜が咲き始めるのは終業式の頃でしょうか。チューリップも芽を出しています。寒さの中で蓄えてきたいのちを美しく開花させます。



子どもたちは1年間の学校生活を終え、次に向かって振り返りとまとめの時期を過ごします。振り返りでは、自分に正直になることが大切です。良かったことをしっかり受けとめると、うまく行かなかったこと、できなかったことを見つめる力が出てきます。成長していく子どもたちは、日々新しいことを学び、吸収していきます。学校では、次々と新しいことが子どもたちの前に広がります。その時に、上手に道のりをたどって新しいことを自分のものにする場合もあれば、自分の中で道筋を立てて整理し、理解することが難しいこともあるでしょう。そのような時には、上手いかなかったり、失敗したり、実はよくわかっていないという現象となって現れます。

次々と新しいことに出会いながら、わかりきっていないことも抱えているのが子どもの学びです。子どもの学びはらせん状のようなものです。全部わかっていないと前に進めない、というものでもありません。新しいことに取り組む中で、それまでの疑問が解決することもあります。とは言え、「まだよくわかっていない」ということには気づいていたいものです。「よくわかっていない」ことに気づいていると、「わかった」の喜びにも気づけます。そのために、うまくいかないことがある、わからない、ということが「悪いこと」として子どもに重荷にならないよう、受けとめを支えることが大事でしょう。「失敗しても大丈夫」、「今わからなくても、これからわかっていく」というのが学校の学びです。



「学校は失敗から学ぶところ」との言葉は、2月26日に5年生保護者会で行われたいじめ対策講演会で、お招きした講師の真下麻里子氏（NPO法人ストップ！いじめナビ理事）からも出されました。本校では今年度からいじめ予防授業として、5年生から9年生対象にいじめに関する授業や講演を設け、発達段階に応じていじめについて学び、よい人間関係を作ることができるように、弁護士などの外部の専門家やスクールカウンセラーも交えて児童・生徒に働きかける機会を重ねています。今回は5年生児童と保護者が一緒にいじめについての話を伺い、考えました。いじめに関しては、子どもは加害者にも被害者にもなり得ると心得、予防的に学びながら、もし何か起こったら、学校と保護者が協力しながら対応していく、学校はそのような共同体だということを伝えてくださったと感じています。何か、というときに子どもが話したいと思える、聞いてもらえると感じてくれる、そのような関わりを日頃から作っておくことも大事なことで感じられました。

今年度の皆様の学院の教育へのご理解に感謝し、お子さんの今後のご成長をお祈り致します。

《イラスト：
児童の
絵手紙より》



自ら行動を起こす人に

副校長 中塩 百合

学年末は、様々な行事を通して学習、生活のまとめを行います。聖心では、振り返りの時間を子どもたちの成長の時と捉え大切にきて来しました。特に、学期末、学年末のまとめの時期には「学年のつどい」を行い、学年全体で振り返り機会をもちます。

先日から年度末の「学年のつどい」が始まり、それぞれの学年が前期末よりもさらに成長した姿を見せてくれ、次年度への期待感が高まります。低学年の子どもたちは、『1年間努力したこと』や『次の学年に向けてがんばっていること』をテーマに自分の経験と考えを堂々と発表しました。「譲る心が生まれて友だちとけんかをしないようになった」「時間を考えて行動している」「上級生からもらった手紙を手本に字をきれいに書く練習をしている」・・・言葉には一人一人の思いが溢れています。できるようになったことは勿論嬉しいことですが、そこまでに子どもたちが知恵を使い、周りの人の力も借りながら、工夫をしてその力を身につけていることに成長を感じます。今回のつどいでは、子どもたちの言葉の中に成長のキーワードを見つけました。それは「自分から」という言葉です。ご両親に声をかけられ、先生に背中を押されてしている行動は、やはり他人任せです。そこからある時、子どもの中に自主性が生まれ自ら行動を起こすと、それまでと違った力強さで物事が進み格段に力が付いていくようです。この経験を繰り返しながら自主性を身につけていくと考えると、失敗を恐れずチャレンジすることが何より大事であることがわかります。また、自ら行動していくきっかけは人それぞれですので、様々な刺激を受ける機会を設けることも意味があります。

6年生を送る感謝のミサで林神父様は、「希望」についてお話になりました。「希望とは自分の望みを叶えること。しかし、叶えるまでには忍耐も大事である。でも、ただ自分で耐えるだけでなく、そこには周りの人の支えや祈りがある」ことを教えてくださり、また、「あなたも、友だちの希望のために手を貸している」とも話されました。

子どもたちには、友だちが希望に向かって自ら一歩踏み出し成長しようとしている時、支える人であってほしいと思います。また、支えられていることに感謝の気持ちも持ってほしいと思います。友だちは、かけがえのない存在です。次年度も互いに手を携えながら、希望に向かって共に歩いていくことを期待しています。

感謝のミサ



1年 聖心インターナショナル
スクールとの交流



6年 能教室



* 注文お弁当について

4月分の注文は、現在の学級名で1つ上がった学年で申し込んでください。

例) 3年ばら組35番 聖心花子 ⇒ 4年ばら組35番 聖心花子

* 5月以降の注文は、新学年のクラス番号でお申し込みください。

* BLEND について

3月中に入力、確認をお済ませください。

3月の行事予定

3日(月) ハイチデー
4日(火) 午前授業
5日(水) 灰の水曜日
6日(木) 午前授業
10日(月) 面談日①・午前授業
11日(火) 面談日②・午前授業
12日(水) 面談日③・午前授業

13日(木) ファーストステージ修了式
14日(金) 午前授業・6年生を送る会・大掃除
17日(月) 1～5年修了式
18日(火) 卒業式
20日(木) 春分の日

※ 4月8日(火) 始業式
4月9日(水) 入学式(新3～6年生休み)